

BUSINESS REPORT 2021

第65期 中間報告書

2020.4.1～2020.9.30



株式会社田中化学研究所

株主の皆様へ

平素より格別のご理解とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

当社の第65期第2四半期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の事業の概況及び中間決算の状況につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年11月

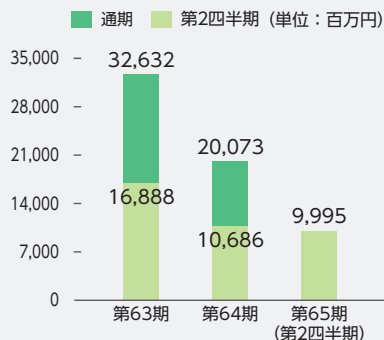


株式会社田中化学研究所
代表取締役 社長執行役員

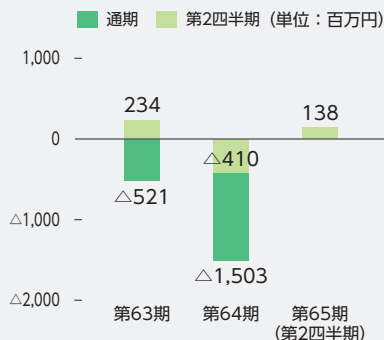
横川 和史

財務ハイライト

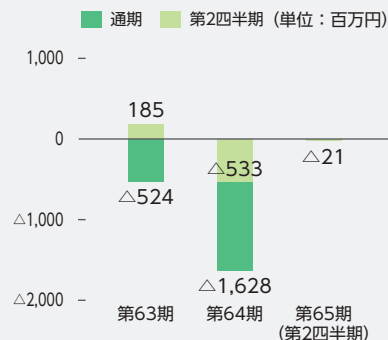
売上高



経常利益



四半期(当期)純利益



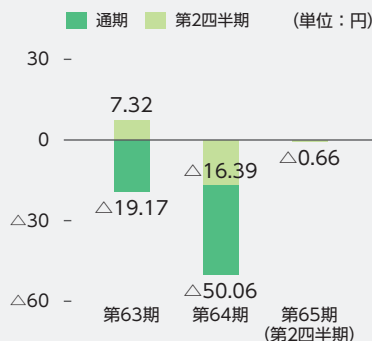
事業の概況

当第2四半期累計期間における二次電池業界は、新型コロナウイルス感染症によるEV（電気自動車）やHV（ハイブリッド車）需要の落ち込みに伴い、電池需要も大きく影響を受けました。こうした状況下、各国では産業育成や新型コロナウイルス感染症からの経済復興策の一環として環境対応車（新エネルギー車）に対する補助金支給などの販売支援策が講じられております。また、アフターコロナを見据えて世界的に環境規制の厳格化の流れが加速されつつある中、各自動車メーカーでは積極的な自動車の電動化に向けて、電池調達先を多様化するなど、関連する業界との協業や連携の動きが活発化しております。

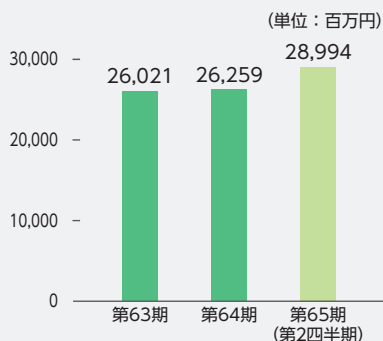
このような市場環境の下、当社といたしましては、中長期的に伸長すると予測されている環境対応車用途の需要に対応するため、前々事業年度から当事業年度にかけてリチウムイオン及びニッケル水素電池向け製品の増産体制を構築すべく、インフラを含めた設備増強投資や組織人員体制の強化を図ってきております。

足下の業績をみると、世界的なコロナ禍の影響を受け、二次電池を搭載した車載用途、民生用途ともに最終製品の需要減少や顧客の生産工場の操業停止といった事態を招いており、期初想定より販売は減少、生産調整を余儀なくされましたが、当第2四半期において、Northvolt社との前駆体製造技術支援契約に基づくライセンス及び技術支援の進捗に応じた売上高10億円を計上しております。コスト面をみると、中期的な増産に向けた設備投資や組織人員体制の強化に伴い主に減価償却費や労務費が増加しており、業績採算面では依然として厳しい状況が続いております。なお、操業に関しては、世界的な新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中ではありますが、引き続き政府や地域行政機関の方針に従い適切な安全対策を講じながら継続しております。

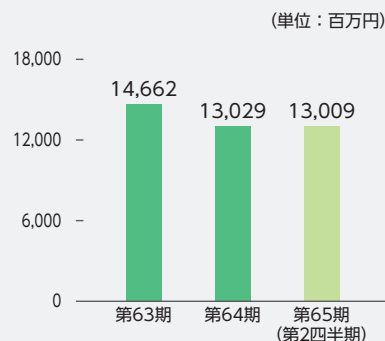
1株当たり四半期(当期)純利益



総資産



純資産



今後の先行きについては、新型コロナウイルス感染症の収束時期を含め同感染症が経済社会へ与える影響を予測することは困難ですが、マクロ経済は短期的に下振れするものと考えられます。こうした中、当社が属する二次電池業界においては、世界各国で厳格化が加速しつつある環境規制への対応が急務であることや、各国の経済復興策によりEV普及が後押しされているといった背景から、電池需要の落ち込みは一時的で、2021年以降は再び成長基調に回帰するものと仮定しております。

以上の結果、売上高9,995百万円（前年同四半期比6.5%減）、営業利益181百万円（前年同四半期は営業損失391百万円）、経常利益138百万円（前年同四半期は経常損失410百万円）、四半期純損失は21百万円（前年同四半期は四半期純損失533百万円）となりました。

主要な製品用途別の販売数量の概況は以下のとおりです。なお、当社は二次電池事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておりません。

【リチウムイオン電池向け製品】

前年同四半期比で5.4%の減少となりました。用途別の増減は次のとおりです。

- 車載用途は、コロナ禍の影響で販売減少があったものの、前年同四半期に一時的に減少していた主要顧客への販売が回復したことから、前年同四半期比で2.9%の増加となりました。
- 民生用途は、コロナ禍の影響で最終製品の需要減少や顧客の生産工場の操業停止の影響により前年同四半期比で15.8%の減少となりました。

【ニッケル水素電池向け製品】

前年同四半期比で3.6%の減少となりました。用途別の増減は次のとおりです。

- 車載用途は、コロナ禍の影響によるHV車需要の減少を背景に主要顧客からの受注が減少し、前年同四半期比で1.5%の減少となりました。
- 民生用途は、市場縮小から数量自体が少量ですが、前年同四半期比で24.9%の減少となりました。

ご参考

(ニッケル国際相場：円換算) (単位：円/kg)

	4~6月平均	7~9月平均	10~12月平均	1~3月平均
2021年3月期	1,324	1,525	—	—
2020年3月期	1,360	1,691	1,686	1,400

(コバルト国際相場：円換算) (単位：円/kg)

	4~6月平均	7~9月平均	10~12月平均	1~3月平均
2021年3月期	3,659	3,527	—	—
2020年3月期	4,028	3,729	4,186	4,199

※ニッケル LME（ロンドン金属取引所）月次平均×TTS月次平均
コバルト LMB（ロンドン発行メタルブリテン誌）月次平均×TTS月次平均

私たちは「正極材料メーカー」です。

主要製品である正極材料は、リチウムイオン電池やニッケル水素電池などの「高性能二次電池」に使用されています。当社の開発した正極材料を使った製品が街中にあふれ、現代社会のあらゆる場所で活躍しているのです。

当社の主力製品



三元系正極材料



ニッケル系正極材料



水酸化ニッケル



水酸化ニッケル
(コバルトコート品)

より良い電池を生み出すために、当社の社員は日進月歩で進化する高性能な正極材料の開発・製造に挑んでいます。

二次電池

リチウムイオン電池

ニッケル水素電池

二次電池とは？
充電することで電気を蓄え、繰り返し使用できる電池のことです。

最終製品イメージ



タブレットPC・ノートパソコン・
電気自動車・電動工具など



ハイブリッドカー・
乾電池型二次電池など

暮らしに欠かせないスマートフォンを毎日のように充電して使えるのは、二次電池があるから。
ノートパソコンや電気自動車も二次電池が原動力になっています。

私たちは**先進テクノロジーを支える存在**です。

テクノロジーの進化に伴い、当社が開発した正極材料を使った製品はますます街中にあふれていきます。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前期末 (2020年3月31日)	当第2四半期 (2020年9月30日)
(資産の部)		
流動資産	9,147,016	8,588,687
現金及び預金	1,014,256	1,493,613
受取手形及び売掛金	2,579,100	2,708,275
電子記録債権	275,298	441,244
商品及び製品	1,162,426	1,195,575
仕掛品	1,830,606	1,272,211
原材料及び貯蔵品	923,739	1,017,681
グループ預け金	700,000	—
その他	661,589	460,085
固定資産	17,112,787	20,405,809
有形固定資産	16,995,058	20,258,491
無形固定資産	6,256	5,983
投資その他の資産	111,472	141,333
その他	111,923	141,785
貸倒引当金	△ 451	△ 451
資産合計	26,259,804	28,994,497

科 目	前期末 (2020年3月31日)	当第2四半期 (2020年9月30日)
(負債の部)		
流動負債	8,365,941	7,166,954
支払手形及び買掛金	1,205,506	2,204,100
1年内返済予定の長期借入金	300,000	675,000
未払法人税等	49,500	228,024
引当金	93,183	104,242
その他	6,717,752	3,955,588
固定負債	4,864,294	8,817,890
長期借入金	4,800,000	8,775,000
その他	64,294	42,890
負債合計	13,230,236	15,984,845
(純資産の部)		
株主資本	13,018,228	12,996,766
資本金	9,155,228	9,155,228
資本剰余金	6,662,707	6,662,707
利益剰余金	△ 2,797,630	△ 2,819,062
自己株式	△ 2,077	△ 2,106
評価・換算差額等	11,340	12,885
その他有価証券評価差額金	11,340	12,885
純資産合計	13,029,568	13,009,651
負債純資産合計	26,259,804	28,994,497

損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	前第2四半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	10,686,262	9,995,841
売上原価	10,204,530	8,956,908
売上総利益	481,732	1,038,932
販売費及び一般管理費	873,481	857,781
営業利益	△ 391,748	181,151
営業外収益	4,595	2,885
営業外費用	23,110	45,422
経常利益	△ 410,263	138,615
特別利益	3,529	80,250
特別損失	399	68,208
税引前四半期純利益	△ 407,133	150,656
法人税、住民税及び事業税	4,035	167,864
法人税等調整額	121,956	4,224
四半期純損失	△ 533,124	△ 21,432

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	前第2四半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
I 営業活動による キャッシュ・フロー	△ 340,429	811,168
II 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 5,392,342	△ 5,354,375
III 財務活動による キャッシュ・フロー	1,665,271	4,343,911
IV 現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 7,986	△ 21,347
V 現金及び現金同等物の 増減額	△ 4,075,487	△ 220,643
VI 現金及び現金同等物の 期首残高	8,535,756	1,714,256
VII 現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,460,268	1,493,613

役員の状況 (2020年10月1日現在)

代表取締役 社長執行役員	横 川 和 史	
取締役会長	茂 苅 雅 宏	
取締役	久 野 和 雄	
取締役	小 坂 伊知郎	
取締役 (監査等委員)	田 中 浩	
取締役 (監査等委員)	大 嶋 哲 夫	
取締役 (監査等委員)	増 田 仁 視	
取締役 (監査等委員)	井 上 毅	
副社長執行役員	大 畑 尚 志	(企画、総務人事、経理・システム、 購買物流、情報開示、IR担当)
執行役員	嶋 川 守 学	(製造技術、製造、設備、 品質管理担当 兼 品質管理部長)
執行役員	田 中 学	(営業、原料担当)
執行役員	中 根 堅 次	(RC、研究開発担当)

株式の状況 (2020年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数 普通株式 47,000,000株
 ②発行済株式の総数 普通株式 32,533,000株
 ③株 主 数 11,957名
 ④大株主の状況 (上位10名)

株 主 名	持株数 (株)	持株比率 (%)
住友化学株式会社	16,407,200	50.43
田中 保	1,264,200	3.88
INTERACTIVE BROKERS LLC	1,127,200	3.46
株式会社三菱UFJ銀行	460,000	1.41
田中 浩	300,000	0.92
株式会社福井銀行	300,000	0.92
住友商事株式会社	250,000	0.76
田中 弘	247,700	0.76
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	219,900	0.67
住友生命保険相互会社	210,000	0.64

(注) 持株比率は自己株式(1,119株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel : 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQ市場)
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.tanaka-chem.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に公告いたします。)

会社概要

商号	株式会社田中化学研究所
設立	1957年12月
資本金	9,155,228千円
主な事業内容	二次電池用の正極材料の製造販売
従業員数	308名
住所	〒910-3131 福井県福井市白方町45-5-10
電話番号	0776-85-1801 (代)
ホームページ	http://www.tanaka-chem.co.jp/



最新の当社IR情報等
ご覧いただけます。

(2020年9月30日現在)

お知らせ

株券電子化によるご注意

- (1)株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。